

再生可能エネルギーの推進

持続可能な県政実現に向け 政策・改革を着実に実行

長年の事業・研究活動からの政策提言と、常に改革に切り込む姿勢から着実に県政を前進させています。

次世代に責任を持つ 財政改革

環境やデジタル化など、未来の成長に繋がる投資は積極的に行いつつも、安易に借金に頼る体質から脱し、次世代に責任を持つ財政改革を進めています。

2022年11月16日 上毛新聞より抜粋

脱炭素、災害に強いまち加速 県再エネ導入に補助

災害に強く、持続可能な社会の実現に向け、県は再生可能エネルギーの普及に本腰を入れる。太陽光発電設備の導入時、中小企業者に1割当たり4〜5万円、個人には1世帯当たり5万円を補助。事業者は中小企業者に1割当たり6万3000円、個人は1世帯当たり10万円を補助する。産地連携が促され、再生可能エネルギーの普及が期待されている。県は脱炭素化と災害に強いまちづくりを一気に加速させたい考えだ。

1 世帯 太陽光5万円
蓄電池10万円



自らの再エネ事業の経験を活かし、県内の再エネ導入への支援事業を提言。

電力高騰に悩む地元企業の再エネ導入を後押し。後藤がお付き合いしている企業等で導入が進んでいます。



2023年5月19日 上毛新聞より抜粋

これまで電力会社に売電しているだけだった県企業局のクリーン電力を、県内企業に供給して再エネの地産地消を進める。県内企業の価値向上に貢献。

再エネ事業者へ供給

自治体として国内最大規模の水力発電を活用し、企業の再生可能エネルギーへの転換を後押ししようと、県は18日、県営水力発電所33カ所の全発電量の8分の1に当たる年間約1億7000万kWhを、県内事業者に供給すると発表した。現在は大手小売業者に全量を販売しているが、一部を切り替える。化石燃料由来の電力からの転換は企業価値の向上につながる。企業誘致にも活用する。

年1億7000万kWh
県営水力発電で環境対応後押し

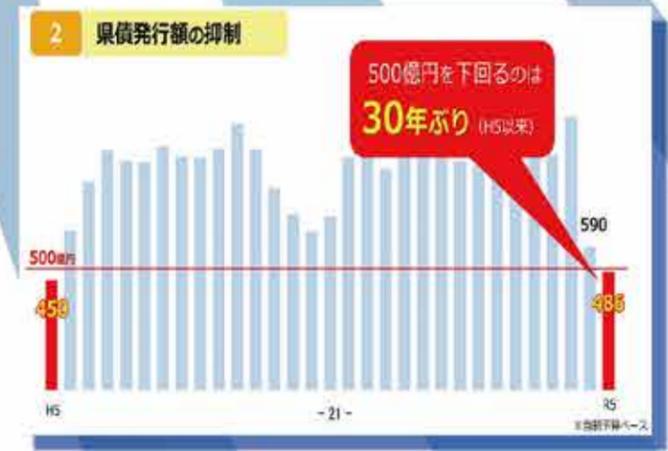
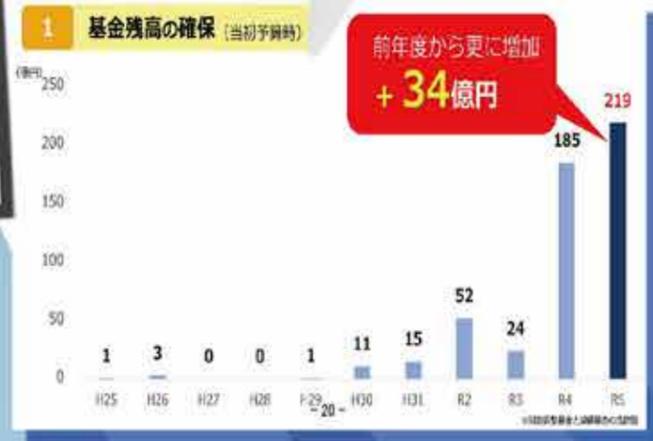
住宅地にグリーン水素

群馬県板倉町で事業へ

送電網構築、災害時も供給

太陽光の余剰電力を貯蔵

板倉ニュータウンの住宅向けに供給する「グリーン水素」の実証実験がスタート。災害時も供給できる。送電網構築も進んでいる。



次世代エネルギーである水素の実用化について先進事例をもとに提言。板倉ニュータウンでの実証実験がスタート。